

その時学校で何ができたのか ～東日本大震災の事例を通して～

【開催趣旨】

現在、私たち順天堂大学東京啓友会の会員の 2 割超が学校教育現場で体育科教員として活躍しています。

3 月 11 日に東日本を襲った大震災では、私達の多くは直接大きな被害は被っていないものの、生徒、学生、教職員の安全対策を見直さなければならない機会となりました。

さらに、地域社会において学校が地域住民の安全、避難のために何ができるのかも、あらためて気づかされることにもなりました。

そこで、多くの会員諸兄姉の安全管理に対する意見・情報を交換する場の必要性を感じ、相互に貴重な体験から来る知見を共有するために、このシンポジウムを企画いたします。

会員はもとより、同窓生以外の関係者各位にも多数ご集合いただくことを願っています。

記

1. 日時 平成 23 年 12 月 3 日(土) 14:30～16:30
2. 場所 日本青年館 地下 1 階 C R 会議室
(JR 千駄ヶ谷駅あるいは大江戸線国立競技場前駅下車徒歩で 5 分)

3. シンポジスト

新地章倫(しんちあきのり)氏(立教学院総務部副部長)

震災当日は立教大学池袋校舎で 5000 人以上の帰宅難民と化した一般市民の受入れに陣頭指揮にあたられました。

歳納繁太(としのうしげた)氏(東京家政大学附属中学校 教頭)

体育学部 49 年卒、平成 17 年院修了、サッカー部
現在の勤務校において情報が少ない中、生徒の誘導、安全確保、健康管理の陣頭指揮にあたられました。

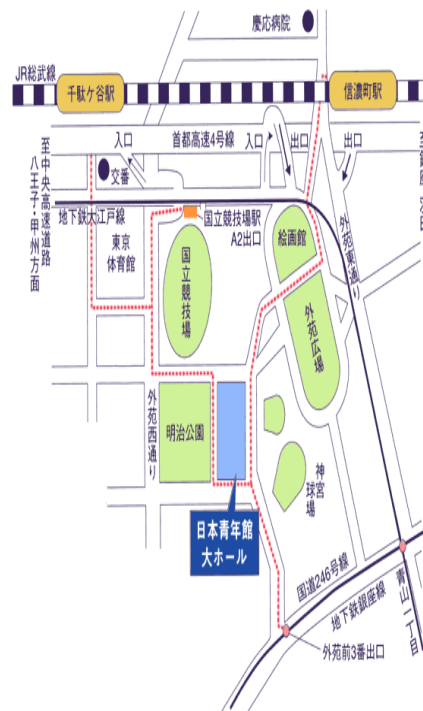
* 司会進行：木村博人(東京家政大学 昭和 58 年卒)

4. 会費 会員：無料 会員以外：1,000 円(資料代)

* 年会費、懇親会費は別途受け付けます。

5. 申し込み 次の 5 点を明記の上メールか F A X で受け付けます。

①お名前、②所属、③卒業年、④ご連絡先(メールアドレスか F A X 番号)、⑤懇親会への参加の有無



メールの方：順天堂大学東京啓友会 事務局 岡嶋 coach_aki@me.com

FAXの方：東京家政大学体育学研究室 木村 03-3961-5267 (TEL兼用)

申込期限は11月28日(月)とさせていただきます。